**第１５６回ペン川柳　　お題「粉」（名詞）**

**世話人：平尾富男（酔深）**

**日時＝平成２９年４月２５日（火）稲田屋新宿西口店**

**参加者＝三春（火酒）、浜田道雄（我々好）、大野昰（だし）、平尾富男（醉深）、稲宮健一（井波）、山縣正靖（安兵衛）、細谷博（損得）、　（８名）**

**欠席者＝岩崎洋一郎（不言）、八木信男（明迷）、西川武彦（酔雅）、富田佳瑞（鬼瓦）、松谷隆（零門）、安藤晃二（晃二）、　（６名、\*印は投句）**

**（今月のお題は「粉」；\*印は今月の互選五句、\*は最優秀句）**

**\*１．政治家の粉骨砕身言葉だけ　（損得）　←　（２票）**政治家は言葉が命。だからこそ出来もしない美辞麗句の公約で我が身を飾ってしまうものです。有権者も先刻ご承知ですからそんな言葉は信じないのです。論語の教え「言行一致」を実践する政治家の出る世の中を待ちましょう。

**２．空蝉の粉挽き水車は蕎麦を売る　（晃二）　←　（０票）**源氏物語の「空蝉」と
は違うようですが、水車で挽かれた粉で練られた蕎麦を売るのは誰でしょう？　意味不明の句です。投句作者の解説を待ちましょう。

**\*３．白粉を流した素肌また眩し　（井波）　←　（４票）**座の川柳子は「素肌」に弱
いようで、４票入りました。この句の作者は想像を逞しくして花柳界で遊ぶのがお好きなんです。和服の着付け方のひとつである**「抜衣紋**（ぬきえもん）**」**が眼に浮かびます。後襟を引き下げて、襟足が現われ出るように着ることなんです。眩しい！

**４．身を粉に貢いだ揚句袖にされ　（安兵衛）　←　（１票）**惚れた弱みで形振（なりふ）り構わず貢いだ相手からフラれてしまったと嘆いている情けない男（or女？）の恨み節です。よくある話です。座の川柳子は皆大いに経験済みです。

**５．番長に粉の薬は処方せず　（明迷）　←　（２票）**西部ライオンズ、読売ジャイアンツ、オリックス・バッファローズ等のプロ野球球団で活躍した**清原和博**選手を詠みました。現役時代に番長と呼ばれた球界の寵児も、2014年には違法薬物使用疑惑が報じられ、遂に2016年には覚せい剤取締り法違反で現行犯逮捕され**晩節を汚し**てしまいました！

**\*６．傘寿には紅灯脂粉無縁なり　（我々好）　←　（２票）**元句の上五は**「傘寿祝い」**の字余りでしたが添削されました。作者を知る座の川柳子達は一斉に**「**無縁だなんて**嘘つき！」**の声を上げました。卒寿と傘寿は字面（じづら）が似ているので混乱しますが、**卒寿**とは90歳、**傘寿**は80歳。傘寿の我々好さんは卒寿迄には後十年はありますね。

**７．「粉」だって？こりゃ難題だお手上げだ　（酔雅）　←　（１票）**今月のお題「粉」を知って、とっさに降参の手を挙げた作者です。上五に何が来ても、中七・中五は通用します。こんな句は撰者としてお手上げだ！

**８．お汁粉に涙落としてお卒業　（酔深）　←　（１票）**女学校の卒業風景を詠みましたが、それは大昔のことです。最近の女子高生は進んでますから、お汁粉なんか食べません。**車座になって焼酎で乾杯**だそうです！

**\*９．百年の恋一言で粉々に　（安兵衛）　←　（２票）**生涯の恋が一言で壊れてしまうというのです。いったい何を喋ったのでしょうか？　知りたいものです。**一言の重さ**を若くして学ぶのです。

**１０．身を粉にすこんな言葉はとうに死語　（不言）　←　（０票）**そうですよ。こんな死語を知っているのは作者の不言さんだけなのです。今時の若い者にはチンプンカンプンな言葉に違いありません。

**１１．脱サラが蕎麦粉挽いたらお茶も引く　（火酒）　←　（１票）**作者が芸者になったら、ひっきりなしの客の到来で**お茶を引く暇などない**でしょうね。蕎麦粉を挽くのと駄洒落てみましたが、この作者の本来の実力はこんなもんではありません。

**\*１２．粉雪に花見あきらめ燗冷まし　（鬼瓦）　←　（５票）**川柳というより風流な俳句のような風情の句です。春は天候が変わり易く、お花見に出掛けたら粉雪に見舞われてしまいました。**「燗冷まし」**が効いていますね。**今月の最優秀句**に選ばれました！

**１３．粉々に砕けて恋のブルースよ　（酔深）　←　（１票）**立ち上がれない程の失恋にも関わらず、一見余裕で演歌など歌って寂しさを紛らわしているのでしょうか？

**１４．粉雪が表層雪崩に化けた朝　（だし）　←　（０票）**那須スキー場で最近起こった雪崩を詠みました。時事ですが優秀川柳にするにはもう一歩ですね。

**１５．ラッシュ時の厚い白粉止めてよね　（零門）　←　（０票）**元句の下五は**「禁止して」**でしたが添削されました。確かに、乗客の気持ちとしては禁止して貰いたいですよね。

**１６．芋姉ちゃん車中メイクで粉吹き芋　（火酒）　←　（１票）**電車の中で白粉パタパタされたら迷惑ですよね。その怒りを**粉吹き芋**で表しました。**「芋」で始まって「芋」で終わる句**に工夫しましたが、作者のその思惑は伝わりませんでした。

**１７．粉こねて焼き直したわが半生　（酔雅）　←　（２票）**やり直すのは**半生**ではなく**全人生**だろうとの声が上がりましたよ。

**１８．粉骨し今骨折に悩む我　（不言）　←　（２票）**企業のために粉骨砕身で働くのがサラリーマンの鏡でした。**「戦い終わって」**余生を送るかつての企業戦士は、折れ易くなった骨に大いに老いを感じています。

**１９．身を粉にやったつもりがサビが出る　（損得）　←　（２票）**粉骨砕身で働いて来ましたが、今や身体中が錆びついています。元句では「サビ」に対して、ＰＣ上で簡単には出てこない難しい漢字の**「銹」**を使っていましたが添削されました。（世話人は苦労してこの字を探し出しました！）　歌手でもある作者は「サビ」を歌うのが大好きなんです。なんのこっちゃ！

**２０．里山は鶯色に黄な粉和え　（鬼瓦）　←　（２票）**春の美しい里山が髣髴とされる句ですね。俳句と見紛う句が作者一流の味付け**「黄な粉和え」**で見事な川柳に

仕上がりました。

**２１．だれ偉い小麦粉食うのと米食うの　（我々好）　←　（１票）**元句の上五は字

　余りの**「誰が偉い」**でしたが添削されました。**「小麦粉」**とは小麦粉を使った**「パンや麺類」**を指します。どちらが**「偉い」**かどうかは、時代により、又価値観の差でしょうか！

**２２．「身を粉に」死人のことか孫の問い　（零門）　←　（２票）「粉骨」**は孫の世代にとっては、まさに「**死語」**なんですね。

**２３．本命は連れて行かない粉物屋　（明迷）　←　（０票）**関西圏では、たこ焼きやお好み焼き等の小麦粉を調理した軽食は、「**粉もん**」などと呼ばれていますね。本命の女性を連れて行くのは**高級料亭**なんです。作者は無理してフレンチ・レストランへ招待して今の奥様を獲得したんだそうです。

**２４．ミサイルが粉々となり夢も消え　（だし）　←　（１票）**北朝鮮のミサイルは打ち上げられてすぐに爆発して失敗に終わりました。それでも**金（キム）様**は空しい夢を追い続けているんです。

**２５．喜寿なればやめたふりして粉かける　（晃二）　←　（０票）**７７歳にもなったら、お化粧は止そう思ったんですが、つい白粉を振ってしまうんです。幾つになっても**女心**は変わらないのです。

**２６．原始の火火の粉舞ったら童うた　（井波）　←　（０票）**上五の**「原始の火」**とは**焚火**のことだと作者は説明しました。確かに**「原子の火」**ではありませんでした。**「焚火だ、焚火だ、落ち葉焚き」**の童謡が聞えてきます。

**総評：「粉骨砕身」や「身を粉」関連が６句、「白粉」の関連も５句あった一方で、「麻薬の粉」を詠んだものもが出たのは驚きでした。来月のお題は「練る」ですから、じっくり構想を練って作句して下さい。**

**―　今後の日程：**

**５月１２日（金）「練る」、６月２３日（金）「柱」、７月２１日（金）「傾く」、８月２５日（金）「星」、\*９月２２日（金）、\*１０月２７日（金）、\*１１月２４日（金）、１２月２２日（金）　　\*←９月以降のお題は来月発表します。お題案をお寄せ下さい。
尚、９月以降に金沢二泊での合宿を計画中ですので日程変更の予定です。近々に詳細を発表します。**